

情報処理学会平成4年度功績賞



山本 欣子 君
やま もと きん こ

(昭和3年2月8日生)

山本欣子君は、永年にわたって情報処理の分野に携わり、数多くの先駆的な研究・開発に優れた成果を挙げるとともに、学会・団体において先導的役割を果たしてこられました。

わが国の電子計算機の草創期において、MUSASINO-1 の設計・試作が行われた際には、ソフトウェアの研究・開発の先導的役割を果たされました。

その後、(社)日本電子工業振興協会を経て、中立的公益機関の(財)日本情報処理開発協会において、日進月歩の情報・通信分野の発展に対応する幾多の人材の育成や標準化、セキュリティの確保等の環境整備と発展に貢献され、現在も常務理事として、情報化社会の進展に尽くされている業績は、高く評価されております。

さらに、本学会理事2期、監事、第8回世界コンピュータ会議事務局長を歴任され、学会の発展と運営基盤の確立に尽力され、情報処理分野の発展における功績はまことに顕著なものです。



山本 卓真 君
やま もと たく ま

(大正14年9月11日生)

山本卓真君は、永年にわたり富士通株式会社において情報処理分野の研究開発に携わり、数々の優れた成果をあげるとともに、学会・業界において指導的役割を果たしてこられました。

特に全面 LSI 化を達成した大型コンピュータの自主技術開発を指導・育成し、高信頼性の国産コンピュータを開発したことにより、情報化社会実現に大きく貢献いたしましたことは、国際的にも高く評価されております。

同君は昭和56年に富士通株式会社の代表取締役社長、平成2年同社代表取締役会長に就任されました。この間日本電子工業振興協会会長等の業界要職を歴任し、さらに超高性能コンピュータ開発技術研究組合、新世代コンピュータ技術開発機構等の国家施策の推進団体の各理事長に就任されるなど、コンピュータ産業の育成に幾多の業績をあげられました。

また学会活動につきましても、本学会理事、学会創立30周年記念国際会議組織委員会委員長を努められるなど学会の発展に尽力され、情報処理分野の発展における功績はまことに顕著なものです。